

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年08月28日

計画の名称	青梅市における快適な住環境の実現（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	青梅市												
計画の目標	下水道施設の耐震化や長寿命化を行い、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,097	A	1,097	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 （H26当初）	中間目標値 （H27末）	最終目標値 （H30末）
1	ポンプ場の耐震化工事2箇所、耐震診断2箇所、詳細設計1箇所を実施する。 ポンプ場の耐震化工事2箇所、耐震診断2箇所、詳細設計1箇所を実施する。 耐震化済み箇所数（箇所）/下水道総合地震対策計画の計画数（箇所）	0%	0%	25%
2	ポンプ場の改修率を32.1%（H26当初）から53.5%（H29末）に上げる。 ポンプ場の改修率 改築実施済み箇所数（工事数）/改築事業計画数（工事数）	32%	45%	54%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	ポンプ場	改築	北部汚水中継ポンプ場（長寿命化）	ポンプ・除塵機を含む機械設備更新、配電盤等電気設備更新	青梅市	■	■				365		策定済	
		長寿命化事業																		
A07-002	A07-002	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	ポンプ場	改築	日向和田第二汚水中継ポンプ場（長寿命化）	子局を含むB系・C系の中央監視装置更新	青梅市	■	■				347		策定済	
		長寿命化事業																		
A07-003	A07-003	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	ポンプ場	改築	北部汚水中継ポンプ場（耐震化）	耐震補強工事	青梅市	■	■	■	■		191		策定済	
		下水道総合地震対策事業																		
A07-004	A07-004	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	ポンプ場	改築	日向和田第二汚水中継ポンプ場（耐震化）	耐震補強工事	青梅市		■				10		策定済	
		下水道総合地震対策事業																		
A07-006	A07-006	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	ポンプ場	改築	大柳汚水中継ポンプ場（長寿命化）	長寿命化計画策定、電気設備改修	青梅市		■	■	■	■	160		策定済	
		長寿命化事業																		
A07-007	A07-007	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	—	—	下水道ストックマネジメント計画策定	計画策定	青梅市					■	■	24		未策定
		下水道ストックマネジメント支援制度																		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 青梅市下水道事業運営検討委員会において実施	事後評価の実施時期 令和元年8月28日
	公表の方法 青梅市公式ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の耐震化率 ポンプ場1箇所の耐震化工事が完了したことにより、目標値の25%を達成し、流下能力の保全に寄与している。 ・ポンプ場の改修率 ポンプ場の改修率を32.1%から46.4%に向上させ、流下能力の保全に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	青梅市公共下水道ストックマネジメント計画の策定により、今後の長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設全体を計画的かつ効率的に管理することが可能となる。

○特記事項（今後の方針等）

①青梅市下水道総合地震対策計画にもとづき、立川断層帯地震規模の地震動に対する汚水中継ポンプ場の耐震化を推進し、ポンプ場揚水機能を保全し流下能力を確保するため、継続して事業を実施する。

②ポンプ場施設の計画的な調査、点検やこれによる改築事業を継続して行い、持続的に下水道機能を保全し流下能力を確保する。
 今後の事業については、令和元年度に策定される青梅市公共下水道ストックマネジメント計画に盛り込み、施設全体を対象とした施設管理を最適化する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震化実施済み箇所数（箇所）／下水道総合地震対策計画の計画数（箇所）	
	最終目標値	25%
	最終実績値	25%
2	改築実施済み箇所数（工事数）／改築予定箇所数（工事数）	
	最終目標値	54%
	最終実績値	46%
		計画期間内に友田および梅郷第一ポンプ場の耐震診断が遅れたことにより、耐震工事と連携して実施予定であった電気・機械設備改修が未実施となり、目標値に対し未達となった。